

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	女川町「出島」における地域貢献活動
教科・領域等	農業科「総合実習」、「野菜」、「草花」、「生物活用」
活動学年等	食農系列3年次生15名
ねらい	東日本大震災により、本校講堂で避難生活を送った「出島」地域住民との縁を大切に、支援を続けながら、販売実習や集会所清掃を通して交流を深めることで、思いやりの心を育み、社会における自分の役割や生き方についての考えを深める。

【実践内容】

○第1回 令和6年5月24日（土）

本校で栽培したミニトマト苗100本を女川町尾浦港から出島港まで運び、集会所で農業クラブ会長の生徒がミニトマトの品種について説明した。出島は「岩盤耕土で土がない」という話を聞いていたので、事前に農業科教諭とアイデアを考え、「ミニトマトのペットボトル宙づり栽培」をプレゼントした。生徒が講師となり、住民に作り方を教えた。



○第2回 令和6年7月24日（水）

昨年、ミニトマト畑でハチが多く飛んできたという話があったので、前日の放課後にハチよけの「ハチトラップ」を作成した。今回の目的は、①ペットボトル宙づり栽培の生育確認、②住民との「塩おにぎり」づくり、③集会所の清掃、④草刈り（教員）、⑤出島港、寺間港への草花プランター設置の5つで、現地へは江ノ島経由で向かい、出島地区と寺間地区の2つの地区で活動した。



○第3回 令和6年12月26日（木）出島架橋開通記念

前日に、本校で栽培した「ひとめぼれ」を使用して昼食予定の「塩おにぎり」100個を準備した。当日、生徒はバスに乗り、開通した橋を渡って復興住宅へ行き、本校で栽培したシクラメンとネギの販売を行った。



【活動を通して】

食農系列生は、多くが将来の石巻を担う就職希望者である。女川町の離島である「出島」の存在を今回の訪問で初めて知った生徒も多い。日ごろできない体験を積み上げる中で、住民から感謝されたり、期待されたりするという経験が生徒の自己有用感を高めている。住民とのふれあいを通して郷土愛を育み、地域社会の発展に寄与しようとする姿勢が身に付けられると考える。